



Hondaドライビングシミュレーターで飲酒運転体験を行う参加者

# TRAFFIC ADVICE [(株)NTT東日本一千葉]

★交通安全活動をサポートする

午後5時、夕食の時間となり、参加者はお酒を飲みながら食事をとった。飲むお酒の種類や量は各自に任されている。1時間後の6時、まず参加者は計算問題を解く。ストッププオッチを各自で押してから計算を始める。全15問の解答が終わったところでストッププオッチを止め、かかった時間を記入する。次は、片足でバランスをとる課題。目をつぶり、準備ができたら手をあげる。それを合図

11月10日、11日の安全運転実技研修には16名が参加。1日目は、午後1時から、飲酒運転や携帯電話使用などに関する道路交通法についての講義から始まった。そして実技に入り、安全運転の基礎となる運行前点検や正しい運転姿勢を学び、ブレーキングではABS(アンチロック・ブレーキ・システム)体験などが行われた。

「義務中に飲酒運転をする社員はいませんが、プライベートの時は本人のモラルにかかっています。飲酒運転がよくないと思うだけでは、人ごとのようにしかとらえてもらえません。そこで、社員自身に飲酒運転がいかに危険かを、シミュレーターで体験してもらうことにしました。」

## 飲酒運転の危険性をシミュレーターで体験してもらおう

(株)NTT東日本一千葉(千葉県千葉市)では毎年、交通安全センターレーンボー埼玉で安全運転実技研修を実施している。昨年は9月から11月にかけて10回行われ、合計で約200名の社員が参加。今回、内容には新たに飲酒運転体験が加えられた。同社総務部労働担当(安全衛生) 主査の高野晃さんは、この飲酒運転体験を導入した背景を次のように語る。

午後5時、夕食の時間となり、参加者はお酒を飲みながら食事をとった。飲むお酒の種類や量は各自に任されている。1時間後の6時、まず参加者は計算問題を解く。ストッププオッチを各自で押してから計算を始める。全15問の解答が終わったところでストッププオッチを止め、かかった時間を記入する。次は、片足でバランスをとる課題。目をつぶり、準備ができたら手をあげる。それを合図

翌日午前9時、今度は飲酒をしていない状態で昨晩と同じ課題に取り組み、データをとる。そして、インストラクターからデータの比較解説が行われた。飲酒をしていない通常時に比べると、飲酒運転の際は反応時間が長くなること、ブレーキを踏む力が弱くなっていること、また、計算問題や片足バランスでも記録は悪くなっていることを参加者は認識した。

にインストラクターが時間の計測を開始。バランスを大きく崩したり、あけている足が床についたらストップ。さらに、白い線の上を10m歩き、その時間を計測した。



実技のABS体験も参加者には好評だった



参加者はお酒を飲んだ状態で、計算問題を解いたり、片足でバランスをとる課題なども行った

参加者からは、「少しでもお酒を飲むと運転に対する注意力が散漫になることがシミュレーターでの体験がよく理解できた」という声が聞かれた。「プライベートな時間にお酒を飲む社員には、飲酒運転が危険であることを実感してほしいので、次年度以降も飲酒運転体験を継続していきたい」と高野さんは話す。

### NEWS REVIEW

#### ●本田技研工業(株)法人営業部「2005年 感謝の集い」未来を拓く、人・安全・環境の取り組み

11月30日、本田技研工業(株)法人営業部「2005年 感謝の集い」がホテルオークラ東京(東京都港区)で行われた。会場には法人営業部のお取引先様約190名が集まった。第1部は「未来を拓く、人・安全・環境の取り組み」をテーマとした講演。まず主催者を代表して、土橋哲・本田技研工業(株)専務取締役兼日本営業本部長兼安全運転普及本部本部長が挨拶。さらに、Hondaの環境安全技術と安全運転普及活動を紹介。「Hondaはこれからもハードとソフトの両面で事故を防ぐ努力をしていく」と述べた。お取引先様からは、菊政美登志・スミリンエンタープライズ(株)社長、吉村義孝・ウエストジャパン興業(株)社長が、講演を行った。自社の安全や環境への取り組みを発表し、両社長とも安全性能と環境性能の高さを評価して、Hondaの車両を導入したと話した。



写真上/土橋哲・本田技研工業(株)専務取締役兼日本営業本部長兼安全運転普及本部本部長 写真下/お取引先様からも、自社の安全・環境への取り組みが発表された

#### ●2005年ホンダ安全運転普及本部「年末ご挨拶会」お客様に安全を手渡す活動を国内外で継続する

12月2日、Honda青山ビルにて「2005年ホンダ安全運転普及本部 年末ご挨拶会」が開催された。報告会では福井威夫・本田技研工業(株)社長が「技術が進歩する交通社会において、これからも主役が人であることは変わりありません。Hondaは安全運転普及本部設立以来、人に焦点を当てた活動を続けてきたが、ITSを活用する時代になっても、お客様に安全を手渡す活動を国内外で行っていく」と挨拶した。



写真上/矢代隆義・警察庁交通局長 写真下/福井威夫・本田技研工業(株)社長

## ●本田技研工業(株) 関西法人営業所 クルマの物理的限界と危険予測の大切さを体感する

### 交通安全活動を広げる SAFETY REPO

「安全運転セミナー」を開催。このセミナーは、クルマの物理的限界と危険予測の大切さを体感して、安全運転管理と事故削減に役立ててもらおうことを目的に、近畿圏のお取引先様29社から車両管理責任者を務める43名が参加して行われた。

セミナーでは実技講習に先立って、睡眠時無呼吸症候群についての講義が行われた。この病気は肥満などが原因となり、睡眠中に呼吸が止まってしまう病気で、日中に急激な眠気を誘引し、大きな事故を起こすことがある。渡部雅之・関西法人営業所所長は「居眠り運転は単に寝不足からだけではなく、この病気からも起こることを知ってもらい、企業での安全運転管理に活かしてほしい」と話す。

「危険回避」では、3台の駐車車両が並ぶ側方を徐行と30km/hの2通りで走行。どちらのケースでも、駐車車両の間から子どもの人形が投げ入れられた。参加者は駐車車両の脇を通過する際は、低速で危険予測をした運転をしていけば、陰からの飛び出しなどに対応できることを実感した。



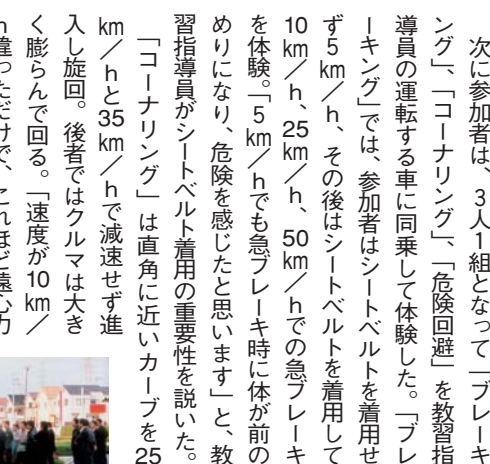
実技講習に先立って行われた睡眠時無呼吸症候群についての講義



危険予測をしていれば、駐車車両の間から人が飛び出してきたでも対応できることを参加者は実感

「コーナリング」では直角に近いカーブを25km/hと35km/hで減速せず進入し旋回。後者ではクルマが大きく膨らんで回る。「速度が10km/h違っただけで、これほど遠心力が違ってきます。カーブ手前での減速は安全運転には不可欠です」と教習指導員がアドバイスする。

「コーナリング」は直角に近いカーブを25km/hと35km/hで減速せず進入し旋回。後者ではクルマが大きく膨らんで回る。「速度が10km/h違っただけで、これほど遠心力が違ってきます。カーブ手前での減速は安全運転には不可欠です」と教習指導員がアドバイスする。



「ブレーキング」では5km/hから50km/hまでのさまざまな速度での急ブレーキを体験

### 活動短信 ●交通安全センター 12月

- 企業(四輪)トヨタモーター株式会社(四輪)トヨタ自動車(株)本社 東京都中央区本町一丁目
- 企業(二輪)ホンダ株式会社 東京都品川区東大井
- 企業(二輪)ヤマハ発動機株式会社 東京都調布市
- 企業(四輪)日産自動車株式会社(四輪)日産自動車(株)本社 東京都目黒区
- 企業(四輪)本田技研工業株式会社(四輪)本田技研工業(株)本社 東京都港区
- 企業(二輪)スズキ株式会社 東京都目黒区
- 企業(四輪)三菱自動車株式会社(四輪)三菱自動車(株)本社 東京都目黒区
- 企業(二輪)ホンダ株式会社 東京都品川区
- 企業(四輪)本田技研工業株式会社(四輪)本田技研工業(株)本社 東京都港区
- 企業(二輪)スズキ株式会社 東京都目黒区
- 企業(四輪)日産自動車株式会社(四輪)日産自動車(株)本社 東京都目黒区
- 企業(四輪)トヨタ自動車株式会社(四輪)トヨタ自動車(株)本社 東京都中央区
- 企業(二輪)ヤマハ発動機株式会社 東京都調布市
- 企業(四輪)日産自動車株式会社(四輪)日産自動車(株)本社 東京都目黒区
- 企業(四輪)本田技研工業株式会社(四輪)本田技研工業(株)本社 東京都港区
- 企業(二輪)スズキ株式会社 東京都目黒区
- 企業(四輪)日産自動車株式会社(四輪)日産自動車(株)本社 東京都目黒区
- 企業(四輪)トヨタ自動車株式会社(四輪)トヨタ自動車(株)本社 東京都中央区